

## 実践記録（小4・算数科）

### 1 ねらい

I C Tを活用し、自分や友達のを考えを比較する活動を通して、自分の考えを深めたり、広げたりすることができるようにする。

### 2 手立て

- ・ タブレット型 PC を活用した学力別の問題演習

児童が短時間で効果的に問題演習を行えるよう、タブレット型 PC を活用することで、児童の能力に合った問題を配信して解答させたり、答えをその場で振り返らせたりできるようにする。

- ・ 学習活動ソフトウェアを活用した考えの視覚化と比較

学習活動ソフトウェアを活用して、記述したそれぞれの考えを児童機で撮影し、その画像を送信させて集約し、教師機で一覧にして視覚化させることで、自分と友達の考えの共通点や相違点を見付けやすくさせる。

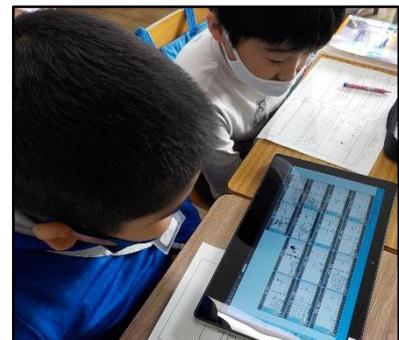
### 3 実践の様子

始めに、本時までの学習内容を振り返った。問題を教師機から児童機に配信し、児童たちに取り組みさせた。児童の能力別に問題を色分けして示すことで、難易度の高い問題に取り組む際には、算数が得意な児童が苦手な児童と話し合ったり、得意な児童が解説したりする姿が見られた。

教師が前時までの学習内容を振り返る場面では、前時の学習課題に取り組んだ際に児童が送信した画像をタブレット型 PC 上で共有し、学習内容を振り返ることで、本時の学習課題に対して見通しをもって取り組むことができた。

学習活動ソフトウェアを活用して互いの考えを視覚化し、比較する場面では、始めにワークシートで考えを記述させた後、ペアで話し合いながらタブレット型 PC で発表用スライドを作成させた。その際、計算の仕方を説明させるスライドにはあらかじめ図や式などを添付しておいて、児童が自分の考えを表現しやすくなるようにした。

また随時、他の友達の考え方を見比べることができるようにすると、「この子の考えを参考にして、説明してみるといいね。」と、他の考えを生かしてスライドに説明を書き加え、より分かりやすいスライドを完成させようとする児童の姿が見られた。



### 4 成果と課題

- タブレット型 PC を活用することで、短時間で効果的に多くの問題演習に取り組ませることができた。
- 学習活動ソフトウェアを活用して自分と他者の考えを比較・検討させることで、自分の考えを深めたり、広げたりする児童の姿が見られた。
- 式で表したり、図や言葉で表したりするなど、表現の仕方がばらばらだったため、考えの共通点や相違点を見付けることが難しかった。